

令和4年度当初予算(案)のポイント

予算規模 399億7,000万円

(前年度比 9億8,900万円、2.5%の増)

歳入(予算審議資料P5)

- **市税の増**
65億4,496万円(1億3,070万円増、2.0%増)
- **地方交付税の増**
127億6,532万円(7億3,947万4千円増、6.1%増)
- **寄附金の増**
9億1,057万9千円(3億857万8千円増、51.3%増)

歳出(予算審議資料P7)

- **物件費の増**
51億2,471万2千円(5億7,872万円増、12.7%増)
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業(3回目)の増
 - ・新型コロナウイルス感染症検査業務委託料の増
 - ・地域再生可能エネルギー導入促進調査業務委託料の増
- **積立金の増**
10億8,218万5千円(3億670万7千円増、39.6%増)
 - ・ふるさと支援寄附基金積立金の増
- **普通建設事業費の増**
76億1,465万5千円(9億6,616万5千円増、14.5%増)
 - ・庁舎建設事業、治水整備事業の増

新規事業①

1 消防団応援の店事業 187千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P48)

消防団員へ消防団員証を発行し、消防団員やその家族が「消防団応援の店」を利用したとき、協賛店が独自に決めた優遇サービスの提供を受けるもの。地域防災力の要である消防団を地域ぐるみで応援する機運を高め、消防団への入団を促進することにより、地域防災力の充実強化を図る。

2 新型コロナウイルス感染症対策大学生等応援事業 23,000千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P58)

新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の学生生活を送ることが困難となっている大学生等を応援するため、ふるさと八女の特産品等を詰め合わせた応援物資を支給し、日常生活の不安や負担を軽減するとともに、ふるさと八女市への意識の醸成を図る。

3 八女市若者応援(奨学金返済支援)事業 4,080千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P103)

若者の本市への移住・定住、地元就職の促進と地元企業の人材確保を図るため、高等教育(高等学校以上)進学時に貸与を受けた奨学金を返還している満30歳以下で、要件をすべて満たす者に対し、その返還を支援する。

4 再生可能エネルギー利活用事業 34,454千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P117)

地球温暖化対策の推進を図るため、本市の再生可能エネルギービジョン(方向性と実施する施策の方針)を策定し、具体的な事務事業について調査を行う。

新規事業②

- 5 **新型コロナウイルス感染症対策生活困窮世帯大学生等支援金支給事業** 3,010千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P133)
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済的に困窮し、就学の継続が困難になっている大学生等に対し、支援金を支給することで就学の継続を図る。
- 6 **子育て短期支援事業** 486千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P152)
保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設に入所又は里親等に委託し当該児童につき必要な保護を行う。
- 7 **迎春診療所運営費補助事業** 2,198千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P172)
へき地医療を確保し、安定的な運営を行うために、社会医療法人天神会「迎春診療所」の運営費の一部を補助する。
- 8 **アピアランスケア推進事業** 180千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P173)
がん患者の治療に伴う外見変化(脱毛、手術痕、身体的欠損など)の苦痛を軽減するケアを推進するために、医療用ウィッグ等および補装具等の購入費の一部を補助する。

拡充事業①

- 1 **非常備消防総務費(消防団員報酬)** 65,500千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P48)
消防庁による報酬の基準等を踏まえ、団員報酬を拡充し、非常備消防による地域防災力の充実強化を図る。◎災害出動報酬の新設および行方不明捜索報酬の改定を行う。
- 2 **未来づくり協議会事業(Wi-Fi整備)** 149千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P60)
各団体における地域活動の充実を図り、コロナ禍であっても持続可能な活動体制を強化するため、地域活動における通信環境を改善する。
- 3 **こども食堂事業費補助事業** 1,590千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P145)
子どもの貧困対策に資するため、こども食堂を運営する団体の活動に対する運営費補助を拡充する。
- 4 **児童虐待防止対策支援事業** 1,088千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P151)
児童虐待防止対策の強化を図るため、困難事例への対応や専門性を高めるための体制づくりとして、これまでの臨床心理士とスーパーバイザー(児童相談所経験者)に加え、新たに医師を配置する。

拡充事業②

5 ファミリー・サポート・センター事業(まかせて会員活動業務補助金) 4,628千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P163)

地域の中で子育ての相互援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業において、ひとり親家庭等の対象者の範囲を拡充、また、利用料金の軽減により子育てによる負担を支援する。

6 利用者支援事業(基本型) ◎相談体制の強化 185千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P164)

子育て世代包括支援センターへの来館による教育・保育・保健、その他の子育て支援の情報提供および相談事業に加え、テレビ電話を活用した相談支援やオンライン会議を実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した相談支援体制を構築・強化する。

7 利用者支援事業(母子保健型) ◎ICT化推進事業 770千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P170)

子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーターを配置し、妊産婦への相談を行っているが、新たに電子母子手帳と、自治体からの子育て情報の配信機能を持つ母子手帳アプリ「母子モ」を導入し、スマートフォンにおいて育児日記や予防接種等のスケジュール管理などについてデジタル化を図る。

8 産前・産後サポート事業(産後家事・育児支援事業) 568千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P171)

子育て世代包括支援センターに新たに家事・育児支援サポーターを配置し、妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等についてアウトリーチ型の相談支援を行い、育児不安や負担の軽減を図る。

拡充事業③

- 9 **各種がん検診委託事業** 88,192千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P179)
健診会場までの交通費の一部助成、子育て世代へのファミリー・サポート・センター事業の利用料金の一部助成および20歳代、30歳代健診の個人負担金を軽減し、受診しやすい環境づくりを行う。
- 10 **自殺対策事業** 436千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P180)
臨床心理士によるこころの相談に加え、若年層対策事業として新たに若年層の自殺が増加傾向にある夏休み明けの自殺予防と、子ども同士でもゲートキーパーの役割や支援ができるよう啓発を行う。
- 11 **成人健康相談・健康教育事業** 3,365千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P181)
①運動習慣定着化教室を開催し、パーソナルケアからジムの利用法、家庭での運動などの指導を行う。
②健康づくりや生活改善が必要な方に、一定期間家庭用血圧計や万歩計を貸出し、高血圧予防の健康管理や運動不足の解消を促すことでフレイル予防を図る。
③管理栄養士による講話、調理実習や食育SATシステムを活用しライフステージにあわせた摂取栄養量や栄養バランスについての学習や指導を行う。
- 12 **木材生産・供給体制基盤づくり促進事業** 32,475千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P218)
林産業の成長産業化には、森林整備における施業コストの軽減や、木材の有効利用による需要拡大が必要不可欠であるため、地域の条件に応じた森林整備の促進と、効率的・効果的な作業システムの構築、並びに木材搬出による森林資源の利活用を促進することで林産業経営の基盤強化を図るため、林産業用機械等の整備および市内の木材市場や製材所等へ出荷する間伐材に対し、補助支援を行う。

拡充事業④

13 森林保全整備促進事業 36,181千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P219)

国土保全、水源の涵養、地球温暖化防止など森林の有する公益的機能の高度発揮や、安定的な林業経営の基盤となる森林を総合的かつ計画的に整備を進めるため、森林整備計画等に基づき実施する市内に属する森林等の保全・整備に要する経費に対し補助支援を行う。

14 林業労働力強化対策促進支援事業(旧森林の担い手対策事業) 13,100千円

(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P220)

林業就業者の福祉向上および福利厚生の充実並びに資格、免許等の習得と技術・技能の向上により、林業の担い手や自伐型林業者等の育成と確保を図るため林業労働力の強化等に要する経費に対し補助支援を行う。

新型コロナウイルス感染症 対策事業

新型コロナウイルス感染症対策事業については、八女市ホームページの「健康・福祉」→「健康・医療」→「新型コロナウイルス感染症」→「新型コロナウイルスに関する支援情報」に掲載
<https://www.city.yame.fukuoka.jp/kenko/1/corona/index.html>

主な建設事業

- 1 **ほたと石橋の館・ホテルと石橋の里公園整備事業** 121, 324千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P85)
- 2 **庁舎建設事業** 2, 686, 285千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P104)
- 3 **河川改良事業** 274, 800千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P228)
- 4 **治水整備事業** 543, 600千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P229)
- 5 **上水道整備事業(豊岡地区水道整備)** 555, 000千円
(主要な事業の事業計画兼事業説明書 P298)

一般会計市債・基金残高の推移

臨時財政対策債とは・・・形式的には自治体が
地方債を発行するが、償還に要する費用は、
後年度の地方交付税で全額措置されるため、
実質的には交付税の代替財源

○市債の現在高(令和4年度末見込み)
約383億7,000万円 (約21億800万円の増)

○基金の現在高(令和4年度末見込み)
約157億9,200万円 (約11億8,600万円の減)

(単位:億円)

